



10-ステップのソフトウェア監査計画

最初の通知を待つことなく、計画を作成し始める

はじめに

非正規ソフトウェアの商業的価値は世界全体で 600 億ドルに迫る勢いです¹。ベンダーは、企業が使用するテクノロジーの対価を確実に支払うようにするために、ソフトウェア監査を通じて IT 世界の治安維持を買って出しています。

ひょっとしたら、今年あなたの会社が監査対象になるかもしれません。実際、ガートナー社の推定では、組織の 68%が今後 12 カ月の間に監査を少なくとも 1 回受けることになると見られています²。さらに、1 年間に何度も監査を受けることも少なくありません。

ソフトウェア監査が差し迫る中、あなたは今後のことについて自問しているかもしれません。監査に備え、合格するにはどうすればよいのか、と。監査を切り抜ける秘訣は、当然予想されることと、コンプライアンスを確保するために採るべきステップを理解することです。最初の通知を待つことなく、計画を作成し始めましょう。



ガートナー社の推定では、

68%

企業の 68%が

今後 12 カ月の間に

監査を少なくとも 1 回受けることになると見られています。



ソフトウェア監査計画

ソフトウェア監査計画は、監査依頼書を受け取ってから採るべきステップのガイドです。これらのステップに従うと、監査が自社の財務および生産性に与える影響を軽減できます。これらのステップはソフトウェア会社間でほぼ変わりませんが、必要に応じて具体的な要件に合わせて変更することもできます。約 65%の企業は、ライセンスソフトウェアの使用に関するポリシーを明文化していません³。あなたの会社は明文化している 35%に含まれていますか。

65%



約 65%の企業は、
ライセンスソフトウェアの
使用に関するポリシー
を明文化していません

10-ステップのソフトウェア監査計画

1 ステップ 監査依頼書の受領

監査依頼書について知るべき立場にある個人または部署を直ちに特定します。これには ITAM/SAM マネージャ、法務部、CIO を含めるのが理想です。監査依頼書を部署間で回覧しないでください。誰もが持て余すだけです。

2 ステップ 直ちに法務部の関与を求める

法務チームがある場合、直ちに関与を求めます。ソフトウェア会社との連絡および交渉プロセスのすべてのステップに法務部に関与させる必要があります。場合によっては、調達またはソフトウェア資産マネージャが対処することも可能です。いずれにせよ、監査が行われることを CIO または経営陣に必ず通知してください。

3 ステップ すべての関係当事者または部署が出席を義務付けられている会議を招集する

監査中の個々の責任を明確に理解させるために利害関係者全員を対象に会議を招集します。関与する必要がある各チームまたは部署から代表者を任命し、今後の会議への出席を義務付けます。これらの代表者がチームの窓口となって、すべての関連データを迅速に提供します。

4 ステップ ソフトウェア会社と新しい秘密保持契約(NDA)を交渉する

法務部と協力してソフトウェア会社と新しい NDA を締結します。NDA では、監査に必要な情報のみを当事者間で共有することを強調すべきです。

5 ステップ 監査条件を交渉する

監査条件を交渉します。収集し、報告すべき情報を必ず書き出してください。該当の会社の製品をすべて監査に含める必要があるとは限りません。監査に含める製品またはアプリケーションを具体的に書き出します。

6 ステップ 関連データを収集する

前のステップで決定した条件に従って関連データをすべて収集します。うまくいけば、このデータはすでにほとんど揃っています。ステップ 3 で任命した代表者を必ず活用してください。

7 データをソフトウェア会社に(過不足なく)送る

収集したデータを指定された期限内に監査人に提出します。必ず、絶対に提出する必要があるデータのみを過不足なく含めてください。必要以上のデータを提出すると最終的に困ったことになることがよくあります。選択リストに記載されているアプリケーションや製品に関するデータのみを提出するように交渉した場合、その他のデータは一切提出しないでください。

8 結果について交渉する

必要な情報を特定し、評価し、ベンダーに提出した後、再び法務部と協力してソフトウェア会社と監査結果について交渉します。その成果としては、調整コスト、料金または罰金、新しい契約条件などが挙げられます。これを機に数量割引を交渉したり、コスト削減を図ります。ソフトウェア会社に提示されたものをそのまま受け入れないでください。調整を毎年行う場合、契約から監査条項を削除することも可能かもしれません。

9 結果を記録する

最も重要なステップは監査の結果を記録することです。どのステップがうまくいき、どのステップがうまくいかなかったのか、監査によってどのくらいのコストが発生し、どのくらいのコストが節約できたのか、どのような交渉戦術を使用し、功を奏したのか、などです。

10 次の監査に備える

結果を記録した後、必要に応じてソフトウェア監査計画に変更を加えてください。次の監査への準備を直ちに開始します。報告によると、52%の企業が何度もソフトウェア監査を受けたことがあると答えています⁴。

52%

52%の企業が
何度もソフトウェア監査を
受けたことがあると答えています



上記のステップは監査を切り抜けることを目的としています。次の監査の際には、文書化した結果を参照し直して活用してください。

メリット

ソフトウェア監査計画の策定はそれほど難しいものではありません。しかし、そのメリットは莫大である可能性があります。考えてみてください。監査依頼書が届いたときに何をすべきかが分かっていたら、どれほど時間の節約になり、どれほどストレスから解放されるでしょうか。

しかも、監査への備えや事前に自動検出する機能が向上するにつれて、監査によって発生するコストを 100 ドル以内の誤差で分かるようになるかもしれません。誰だって、監査によって発生が見込まれるコストを監査初日に CIO や経営陣に報告したいものです。

ソフトウェア監査計画は、違反に関連する罰金または料金を抑えるのにも役立ちます。Microsoft、Adobe、IBM などのソフトウェア会社は、監査がどれほどの痛手をユーザー企業にもたらそうと無関心です。関心があるのは、監査によってどれほどの収益を得られるかだけです。1 回の監査でソフトウェア会社を得る収益を数百ドルに抑えることができれば、ソフトウェアの使用状況に関する今後の監査のペースは遅くなるでしょう。

Ivanti がお手伝いできることについて、さらに詳しくお知りになりたい場合は、
下記 Web サイトをご覧ください。

www.ivanti.co.jp/products/it-asset-management-suite

参考資料

- 1 <http://www.itassetmanagement.net/2014/06/24/bsa-reports-60-billion-worth-unlicensed-software/>
- 2 <https://www.gartner.com/doc/2835817>
- 3 BSA が 2014 年に世界規模で実施したソフトウェア調査
- 4 2012 年 11 月に Vanson Bourne 社が英国、米国、およびフランスの IT 意思決定者 250 名を対象に実施した調査